

講義科目名称：特別演習Ⅱ

授業コード：

授業科目の区分等：Advanced SeminarⅡ (Master Thesis)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	4	必修
担当教員			
渋上 勇次郎			

授業のねらい（概要）	特別演習Ⅰでの学修を踏まえて、各自の修士論文の完成に向けた指導を行っていく。
授業計画	<p>前期前半 修士論文の指導Ⅰ(7回) 論文の骨子を定める（毎回、予習復習ともに120分以上）</p> <p>前期後半 修士論文の指導Ⅱ(8回) 論文を概略、創り上げる（毎回、予習復習ともに120分以上）</p> <p>後期前半 修士論文の指導Ⅲ(7回) 論文の完成へ向けて、指導を行う（毎回、予習復習ともに120分以上）</p> <p>後期後半 修士論文の指導Ⅳ(8回) 論文を完成し、発表の準備へ向けて指導を行う（毎回、予習復習ともに120分以上）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	この授業では、本大学院のDPに基づき「実践的な問題解決能力及び管理運営能力を養い、知識基盤社会を支える高度で知的な教養」「高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を養い、文化の進展に寄与することができる」能力を身に付ける。
到達目標	1経済学及びその関連事項について、演習Ⅰを踏まえて専門的な理解を深めること。 2修士論文の作成を進めて完成させる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題レポートは授業中にコメントする。
履修上の注意	院生各自、自己の研究課題と関連させて、常に経済時事問題全般に関心を持つこと。
成績評価の方法・基準	①授業中の報告内容（80%） ②修士論文への取組み姿勢など学習意欲（20%）
教科書	授業中に指定する
参考書・教材	【参考書】授業中に紹介する。【教材】授業中に配付する。
備考	
教員との連絡方法	メールによる（アドレスは授業で案内する）。